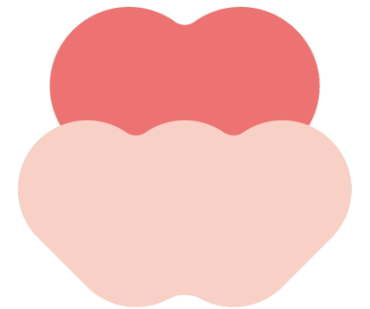


幸福実感共創ラボ「ふくウェル」 の概要について

令和7年6月6日



ふくウェル

幸福実感共創ラボ

はじめに

福井県の県名は、

1624年に、徳川家康の孫、松平忠昌が

約400年

北庄を「福居」に改めたことに由来

漢字の意味として、福には「しあわせを願う」、

居には「居る、住む場所」の意味がある



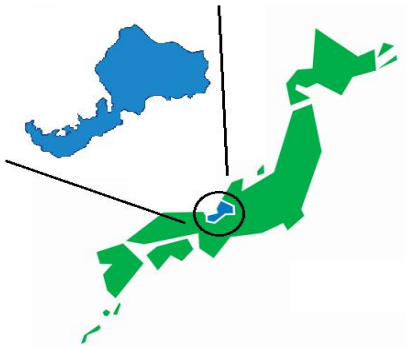
しあわせでいること ÷ Well-being への願い

(良好な状態でいること)

幸福実感共創ラボ「ふくウェル」の存在意義

客観的な統計データの総合評価にて6回連続12年間日本一に加え、北陸新幹線開業により、県民の幸福実感も躍進

現状にとどまることなく、日本を代表する幸せ実感社会のモデルの実現に向けた開拓者になる。



客観的
幸福

統計データを基にした幸福度

- 👑
1位 **福井県** (←前回1位)
2位 東京都
3位 富山県
4位 長野県
5位 石川県

出典：日本総合研究所「都道府県幸福度ランキング2024年版」

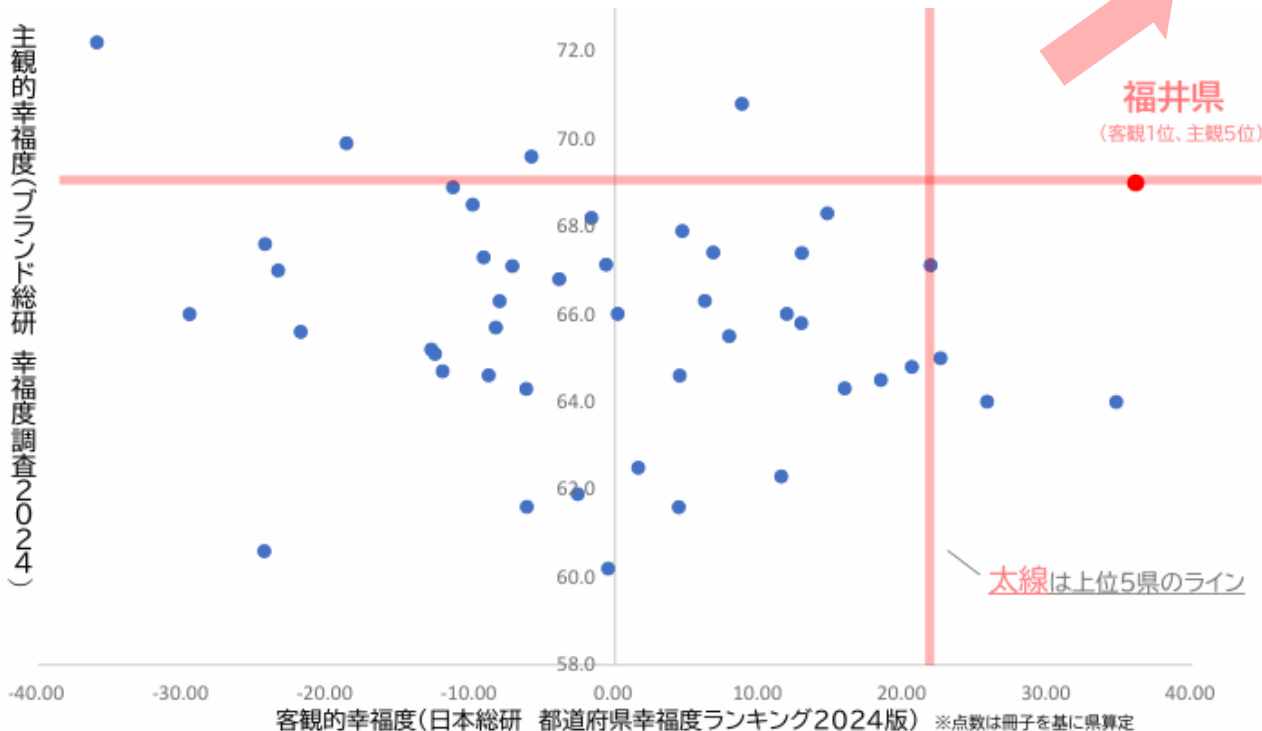
主観的
幸福

住民に聞く幸福実感

- 👑
1位 沖縄県
2位 大分県
3位 宮崎県
4位 和歌山県
5位 **福井県** (↗前回19位)

出典：ブランド総合研究所「幸福度調査2024」

客観的・主観的幸福度(日本総研2024 × ブランド総研2024)



幸福実感共創ラボ「ふくウェル」の目的・目標

「幸福度日本一の社会基盤」と「県民一人ひとりの高い幸せ実感」の両方が実現された「日本一の幸せ実感社会」を目指していく。

長期ビジョン（2025.3改定）

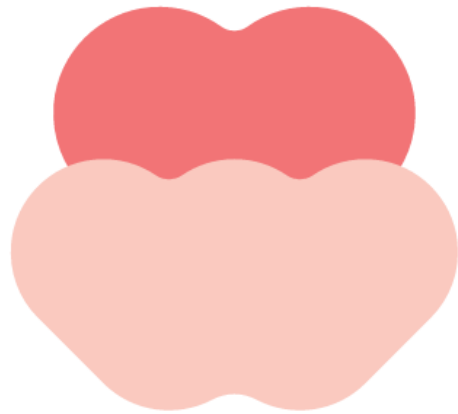
○ 基本方向

- ・ **幸福度日本一の社会基盤のもと**、デジタルの力を活用しながら、多様な人材の能力を響き合わせるにより、「一人ひとりのチャレンジとまちの進化の好循環」を生み出します。
- ・ 地域の未来への希望をみんなで創ることにより、**県民の持続的な幸せ実感を高め**、若い世代からも選ばれる「**日本一の幸せ実感社会**」の実現を目指します。

○ 総合目標

総 合 目 標	現 状（2024年度）	目指す姿（2029年度）
都道府県幸福度ランキング（（一財）日本総合研究所）	総合1位	総合1位
総合的幸せ実感（県民アンケート）	7.0点（10点満点）	現状値以上
住んでいる地域に愛着や誇りを感じる度合（県民アンケート）	3.4点（5点満点）	現状値以上
合計特殊出生率（人口動態統計調査）	全国8位（1.46）	全国上位
社会増減（転出超過者数）（住民基本台帳移動報告）	△2,607人 ※2023年実績	△2,000人以内

幸福実感共創ラボ「ふくウェル」の愛称・ロゴ



ふくウェル

幸福実感共創ラボ

- ・ 愛称は、幸福(ふく)実感・ウェルビーイングと、福井の「福(ふく)」と、井を英語にした「well(ウェル)」を表している。
また、幸福の種を植え(ふくをうえる)、みんなで育んでいく思いを込めている。
- ・ ロゴは、幸福を表すハートと、ウェルビーイングのWを表すとともに、ハートを3つ重ねたデザインになっており、「産・学・官」が、「信頼・共感・感謝」のつながりの中で、共創していく様子を表している。



幸福実感共創ラボ「ふくウェル」の体制

○メンバー

企業・団体、大学、市町、県

順次拡大。幸福実感共創ラボの趣旨に賛同いただける企業等が広く参加

○代 表

幸福実感共創コンダクター 杉本達治 福井県知事

(Chief Well-being Conductor : CWC)

○運 営（専門性を発揮しながら共創を推進）

幸福実感共創ディレクター

飛田章宏 福井県幸福実感ディレクター

高野 翔 福井県立大学准教授

林 譲也 福井経済同友会 ウェルビーイング経営委員長
(福井厚生病院理事長)

朝倉由希 福井県文化振興プラン策定委員長
(公立小松大学准教授)

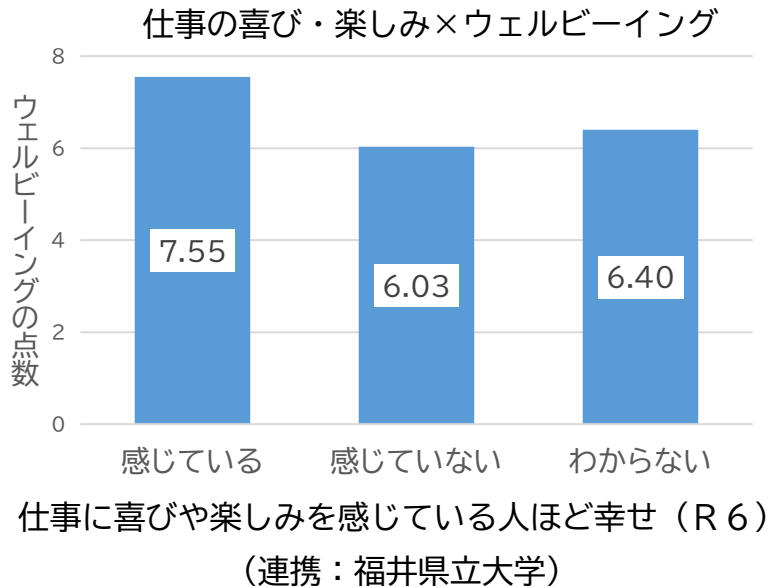
幸福実感共創ラボ「ふくウェル」の活動

- ・官民が交流する「出島」的な拠点にて、幸福実感向上の要素・手法の研究や実践的なプロジェクトを創出

①大学等の研究応援

本県をフィールドとする研究を支援（旅費や研究実費）
トライアル枠予算での支援も検討

研究事例



②市町・企業の実践プロジェクトの応援

幸福度日本一の推進に取り組む市町やウェルビーイング経営を実践する企業を支援

実践事例



プログラミングでの世代間交流による幸福実感実証（R6）
（連携：敦賀市×こどもプログラミング協議会×慶應義塾大学）

③マッチング・相互応援

マッチングにより新しい研究や実践を創出
イベント等の誘客や運営も相互に協力

イベント等事例

Well-being アクションフォーラム in 越前市
～ 働き続けたい理由が、そこにある ～

特別講演



日本経済を変えていくために皆様とできること

経済産業省
近畿経済産業局
局長 信谷 和重

いま求められる企業力

- ☒ 時代の潮流の変化をとらえ、稼ぐ力をつける
- ☒ 賃上げ、価格転嫁、成長投資、イノベーション
- ☒ 社員、顧客、地域、社会に愛される企業になること

開催日時

5/27（火）
13:30～15:30

参加
無料

開催場所

越前市生涯学習センター
eホール
（福井県越前市府中一丁目13番7号）

Well-beingアクションフォーラム（5/27）
（主催：越前市、近畿経済産業局 共催：県）

- ・本日6月6日に第1回の官民共創会議を開催（ディレクター委嘱、今年度活動の共有）₇

(参考)福井県の幸福の伸びしろ

県民アンケート(幸福実感に関連するまたは充足度が低い項目)
都道府県幸福度ランキング(順位の低い項目)

日本一の幸せ実感社会

一人ひとりの幸せ実感

実践に向けた機運醸成

安全・安心

健康（政策13）
医療・福祉（政策14）
居住環境・治安防災（政策15,16）

健康状態がよい	相関有	平均歩数	31位
ホームヘルパー数	47位		
交通・生活基盤が充実している	充足低	一般廃棄物リサイクル率	44位
		エネルギー消費量	44位

良好なつながり

家族（政策17）
地域（政策18・11）
社会（政策3）
海外・県外（政策8,9,10）

家族を大切にしている	相関有	余暇(家族等)時間	36位
地域に居場所や舞台がある	相関有	地域に愛着や誇りがある	相関有
地域をおすすめできる	相関有		
多様性を尊重している	相関有	インターネットの利用人口	33位
孤独感を感じている	逆相関有	人口増加率	34位
海外とのつながりがある	充足低	留学生数	32位
姉妹都市提携数	38位	外国人宿泊者数	43位
訪日外国人客消費単価	45位		

仕事の充実

産業基盤（政策6, 5）
働く環境・所得（政策7）

安定した産業基盤が維持されている	充足低	新事業にチャレンジできる環境がある	充足低
農業の付加価値創出額	32位	事業所新設率	36位
製造業労働生産性	38位	農業の6次産業化伸び率	45位
働く喜びや楽しんでいる	相関有	働くことが社会貢献につながっている	相関有
働き方を選ぶことができる	相関有	働きたい魅力的な職場がある	充足低
働く場所と機会が確保されている	充足低	働きやすい環境が整っている	充足低
男女の賃金格差	32位		

楽しみ・育む

文化芸術（政策12）
スポーツ（政策12）
子育て（政策4）
教育（政策1, 2）

芸術に親しむことができる	充足低	文化活動等NPO認証数	46位
スポーツの活動時間	39位		
学童保育設置率	32位		
地域社会を担う人材を育成している	充足低	社会人の学びの機会がある	充足低

※政策は県長期ビジョン実行プランにひもづけ